



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 エンシュウ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6218 URL <http://www.enshu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土屋 隆史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 中村 泰之

TEL 053-447-2111

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	18,421	21.7	1,032	97.0	1,025	615.7	936	—
24年3月期第3四半期	15,134	△13.9	524	15.9	143	472.0	25	18.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 941百万円 (314.6%) 24年3月期第3四半期 227百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	14.83	—
24年3月期第3四半期	0.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	33,383	5,876	17.4	92.20
24年3月期	31,536	4,930	15.6	78.07

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 5,821百万円 24年3月期 4,930百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	7.0	1,800	45.1	1,700	71.3	1,500	87.4	23.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

PT. ENSHU INDONESIA, 遠州(青島)機  
新規 3社 (社名) 床製造有限公司, 遠州(青島)機床商貿  
有限公司、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 有  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P3「サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	63,534,546 株	24年3月期	63,534,546 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	390,033 株	24年3月期	382,517 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	63,151,349 株	24年3月期3Q	63,170,233 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当社を取り巻く経済環境は、中国の経済成長の鈍化や欧州の債務問題、長引く円高等を原因として先行き不透明な状態が続きましたが、年末にかけて経済政策への期待等により株価は上昇傾向となり、為替も円安傾向となっております。

このような情勢の中で当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、輸送機器関連事業部門が前年とほぼ同水準だったものの、工作機械関連事業部門が増加したことにより18,421百万円（前年同期比21.7%増）となりました。損益につきましては、増収及び原価低減、経費節減に努めて参りました結果、営業利益は1,032百万円（前年同期比97.0%増）となり、経常利益は1,025百万円（前年同期比615.7%増）、四半期純利益は936百万円（前年同期比3,525.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

工作機械関連事業部門におきましては、中国を始めとしたアジア地域への売上高が増加し、10,516百万円（前年同期比45.8%増）となり、セグメント利益（営業利益）は880百万円（前年同期比149.8%増）となりました。

輸送機器関連事業部門におきましては、売上高が7,846百万円（前年同期比0.2%減）とほぼ同水準、内製化や原価低減を進めた結果、セグメント利益（営業利益）は142百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

その他部門におきましては、不動産賃貸業により、売上高は58百万円（前年同期比0.0%）となり、セグメント利益（営業利益）は44百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,847百万円増加し、33,383百万円となりました。この主な要因は現金及び預金が90百万円、売上債権が2,913百万円減少したものの、たな卸資産が4,097百万円、固定資産が1,050百万円増加したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ901百万円増加し27,507百万円となりました。この主な要因は仕入債務が992百万円減少したものの、借入金が増加した1,645百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ945百万円増加し、5,876百万円となりました。増加の主な要因は四半期純利益936百万円の計上によるものであります。この結果、自己資本比率は17.4%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、本日（平成25年2月8日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、当社の非連結子会社であったPT. ENSHU INDONESIA、遠州(青島)機床製造有限公司、遠州(青島)機床商貿有限公司の3社は重要性が増したことから、連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

有形固定資産の減価償却の方法につきまして、従来、当社は定率法(平成10年4月1日以降取得の建物は定額法)を採用し、在外連結子会社は定額法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より全ての有形固定資産について定額法に変更しております。

この変更は当社グループのグローバル展開の進展を踏まえ、海外設備投資の重要性が増すことを契機として、グループ会計方針の統一及び適正な期間損益計上の観点から、有形固定資産の減価償却方法を検討した結果、当社の有形固定資産は安定的に稼働しており、今後も当社の製品から安定した収益が見込まれることから、収益に対応した費用配分を行うために、有形固定資産の減価償却方法を定額法に変更した方が、より適切に経営実態を表すと判断したために行うものであります。

これにより、従来の方によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益は136百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ154百万円増加しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

前事業年度の有価証券報告書に記載した、金融機関数社と締結しているシンジケートローン契約の財務制限条項等に抵触する事実により、期限の利益喪失に係る請求を受ける可能性があります。重要事象等につきましては、平成24年12月28日をもって当該シンジケートローン契約が終了したため、財務制限条項等に抵触している事実はなく、当第3四半期連結会計期間においては、当該重要事象等は存在していません。

また、平成24年12月28日付にて新たなシンジケートローン契約を締結していることにより、新たな財務制限条項等が付されておりますが、当財務制限条項等には抵触している事実はなく、重要事象等は存在していません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,860	1,769
受取手形及び売掛金	7,201	4,288
商品及び製品	2,067	3,634
仕掛品	4,842	7,539
原材料及び貯蔵品	991	825
その他	1,856	1,561
貸倒引当金	△6	△8
流動資産合計	18,812	19,609
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,387	7,387
その他(純額)	4,734	5,477
有形固定資産合計	12,122	12,865
無形固定資産		
その他	53	113
無形固定資産合計	53	113
投資その他の資産		
その他	633	880
貸倒引当金	△85	△84
投資その他の資産合計	548	795
固定資産合計	12,723	13,774
資産合計	31,536	33,383
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,194	6,202
短期借入金	9,133	6,374
未払法人税等	66	85
賞与引当金	320	210
その他	1,709	2,017
流動負債合計	18,423	14,890
固定負債		
長期借入金	3,677	8,080
退職給付引当金	2,099	2,154
役員退職慰労引当金	55	55
資産除去債務	292	293
その他	2,057	2,032
固定負債合計	8,182	12,616
負債合計	26,606	27,507

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,640	4,640
資本剰余金	1,230	1,230
利益剰余金	△4,100	△3,203
自己株式	△58	△58
株主資本合計	1,712	2,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	3
土地再評価差額金	3,409	3,409
為替換算調整勘定	△193	△199
その他の包括利益累計額合計	3,217	3,213
少数株主持分	—	54
純資産合計	4,930	5,876
負債純資産合計	31,536	33,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	15,134	18,421
売上原価	13,053	15,567
売上総利益	2,081	2,853
販売費及び一般管理費	1,556	1,820
営業利益	524	1,032
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	1	2
持分法による投資利益	3	2
為替差益	—	211
その他	78	92
営業外収益合計	84	310
営業外費用		
支払利息	205	213
為替差損	234	—
その他	25	104
営業外費用合計	465	317
経常利益	143	1,025
特別利益		
固定資産売却益	5	0
特別利益合計	5	0
特別損失		
固定資産廃棄損	3	5
災害による損失	70	—
投資有価証券評価損	6	1
特別損失合計	79	7
税金等調整前四半期純利益	69	1,018
法人税、住民税及び事業税	44	109
法人税等調整額	0	△30
法人税等合計	44	78
少数株主損益調整前四半期純利益	25	939
少数株主利益	—	3
四半期純利益	25	936



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	25	939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	2
土地再評価差額金	256	—
為替換算調整勘定	△39	△0
その他の包括利益合計	201	1
四半期包括利益	227	941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	227	938
少数株主に係る四半期包括利益	—	3

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	工作機械 関連事業	輸送機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,215	7,860	15,075	58	15,134	—	15,134
セグメント間の内部売上高 又は振替高	40	—	40	—	40	△40	—
計	7,255	7,860	15,115	58	15,174	△40	15,134
セグメント利益	352	137	490	41	531	△7	524

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益の調整額△7百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	工作機械 関連事業	輸送機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,516	7,846	18,362	58	18,421	—	18,421
セグメント間の内部売上高 又は振替高	169	—	169	—	169	△169	—
計	10,686	7,846	18,532	58	18,590	△169	18,421
セグメント利益	880	142	1,023	44	1,067	△34	1,032

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益の調整額△34百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

該当事項はありません。